

幼児教育にも一業専心主義が必要

京都、永觀堂幼稚園 牛 島 隆 則

緒言

近來保育に關する講習會が至る處に、各種團體主催の下に開催せられることは、内容は別として幼児教育振興上誠に喜ばしき現象の一つである。又保育指導者の位置にある者の指導精神も従來の保育の型を一變し、幼兒そのまゝの實際的方向に轉進しつゝあり、又各地に開催せらるゝ保育大會なきに提出の研究問題の如きも、最近に至り次第に眞面目に實際的問題に進みつゝあるが、猶未だ根本的に改善を要すべき點、其他幾多の事項は吾人の眼前に横つてゐるのである。従つて保育當事者の自力的今後の活動こそ、我國幼児教育將來の進展如何を卜するパラメーターである。

自分は幼児教育に直接關係しては未だ日淺く、研究も充分ならざる身を以て、この大切な非常時に生活し、先き程

は「幼児教育の統一に就て」七月の「幼時の教育」に意見の一端を發表したが、幼児教育振興の必要を痛感する今日に於て、同一意見の人を一人でも一人でも作るこゝが出来たら、無意味に一生を送らぬこゝになるであらうと思ふこゝに有難く感ぜらるゝのである。古人の句に

狗の子の眼をぼつちりこあけの春

云ふのがある、これは元日には人々が賑かに笑ひさめくので、軒下に寝てゐた狗の子まで眼をあいて共に新春を祝ふ心をあらはす云ふのである、自分も其の狗の子の様な氣分になつて、幼児教育の大に興隆すべき時代に微力を致したいとの念願から、本題の様な意見を發表するのであるから、先輩諸賢よしその意のある處を察せられ、誤れる點あれば遠慮なしにお教示を願ふ次第である。

一、一業専心主義の必要

何事によらず一業専心主義でなくては、充分の成果を擧ぐる事は出来ない、例ひ非凡の人であつても限りある力を以て限りなき幾多の事業に精力を分割して好結果を得んことをする事は、木にのぼつて魚を求むる様な類である、彼の鐘紡會社の今日あるは武藤山治氏が一業専心主義を貫徹された賜であると思ふ、元來兼務が本務丈けに身の入らない事は何き云つても人情の弱點である、自分なごも軍職にある時代には、色々の兼務や御用掛なき命ぜられて、幾多の経験を嘗めてゐるのである。

元來兼務をなす場合は、多くは經費の都合さか、一時的の場合さか、一人前丈けの仕事量がなき場合さか、他に適當な人物が得難き場合等に適用すべき便法に過ぎないのであつて、決して賞用すべき方法でない事は明かである。

然るに幼児教育界の現状は如何き云ふに、小學校長さか、一寺院の住職さか、女學校等の校長さか、他に多用の本務を有する者が園長を兼務せる次第にて、専任園長の如きに至つては稀き云はねばならぬ状態なのである、して見れば今日まで幼児教育の振はないのは別に不思議でも何でもない

いのである。

二、何が故に園長の兼務が多いのか

云へば

- 一、經費の都合
- 二、經營系統の關係

三、園長の職務を輕視せる關係

なきが兼務をなす重なる原因として考へさせらるゝのである、言ひ換へれば幼児教育の事業はまだく身を入れて、金をかけて、やる丈けの價値がない者き一般に認められ居る爲さしか思れないのである。

幼児教育普及の點から云へば、なるべく保育料を輕減せねばならぬ、従つて多くの保育團體は其點に留意し來れるが、公立以外の多くの保育團體は經營系統の關係上、確實なる基礎を有する者少なし、従つて園長を兼務する方が園の發展は兎に角、經濟其他に於て好都合である。

又園の成績が擧らなくても別に小學校さか、中學校なきの様に上級學校に入學する率を彼此れ云々される様な心配もなく、又監督官廳は公立幼稚園に對しても左程の關心を

持たない様である、況んや私立團體に於てをや、甚しきに至りては先に「幼児教育の統一に就て」に於て述べたる如し、幼稚園以外の名稱の下に保育せる團體に對しては、學務當事者は幼稚園でないから全然無關心の現狀で社會事業の一部として見做されてゐる、或は學務課、社會課何れに屬してよきや迷ふて居る地方もある様である、甚しきに至つては無届のまゝ多數の幼児を狹隘なる場所に收容してゐる處もある、社會事業の名の下であれば、届けても届けなくとも保育すれば、設備萬端幼稚園令に指示されある、例

へば保育室は一坪五人以内とか、運動場は一人一坪以上とか、何とかの規定を無視して如何に運動場は狭くとも多數の幼児を集め保育することは、ないよりも有る方がよい、と云ふ主義だと思すれば、大切な幼児時代を斯る不統一の許に生活させるのが、所謂幼児教育が輕視される證據であると思ふ。

三、園長の職務は閑職ではない

何事でも一業専心主義でなくては發展は望めない、例へば中等高等學校等の教員なきが往々内職的に幾多の學校の科

程を分擔し、悪く云へば時間の切り賣りをなせるなき、或は小學校長に本務以外に幾多の役目を課するなきは、今日教育界の行き詰りを來す原因の一つに計へてもよいかと思ふ、陸軍なきでは本職以外に勝手に内職なきは嚴禁してゐる、今日我國幼児教育の進歩發展が遅々として進まざる原因は、前に述べたる如く殆んど園長兼務制を採用し來れる結果であると思ふも過言でないと思ふ、其證據には都市の名は指さないが專任園長を置ける都市にあつては、相當の成績を擧げ範を示しつゝあるのである。

元來市教育當事者は該市經營の幼児教育事業に關係せねばならぬのみならず、其の進歩發展上責任者の位置にあらねばならぬ筈である、然るに往々にして關心を有せざる都市もある様である、斯る都市の保育事業は遅々として進まざるは當然の結果と思はねばならぬ。

幼稚園は家庭の延長であつて、幼稚園令にも指示される通り、家庭教育の補足をする一つの任務がある、言ひ換へれば幼稚園は大家族制である、園長は家長で主任保母は主婦である、家庭としては一日も家長を缺いてはならぬ、

世間に家長(男)なき家庭や又は家長が年中不在で年に一、二回しか歸らぬ云ふ様な家庭の状態を考察して見れば思ひ共に過ぎるのである。

小學校長が市長が云ふ職務は、一日も缺いてはならぬことは必要條件の一つである、園長も之と同様で家長として常に園にあつて園児起居を共にし、常に園児の信頼の目標となつて一日も缺く事の出来ない役である、彼の教育會の會長が、保育會の會長が云ふ様な、年に必要の都度顔を出せば濟む閑職なき同一視されることは絶對的に出来ないのである。

四、何故に園長の兼務が解けないのか

園長云へば保護者に對し重大なる責任がある、保護者も園長を信頼して愛兒を托せるのである、その園長が自ら園務を充分に處理する事の出来ない状態にありながら、甘じて兼務しある事は其心境の諒解に苦む次第である。

眞に責任を痛感する者なれば、自ら園長を他に譲るか、又は園長を兼務する事は本務の遂行上不都合であるから兼

務丈けは解かれ度き旨、上司に申出る位の勇氣が望ましいのである、併しながら非凡の人物にして兼務しても専任同様の成績を擧げ得る者なれば、元より兼務差支なきも、斯る人物はなかく得難いのが普通である。

殊に小學校長の園長兼務の如きは、何れの方面から見ても早く其兼務を解いてやる必要がある、校長自身に取つても甚だ有難迷惑ならん、幼稚園にしても迷惑千萬ならん、故に小學校長は相談役の役目とする方が適當ならん、何故なれば小學校長には重要な要務がある、其要務を完全に遂行する丈けでも、なかく骨の折れるのであると思ふ、今日の小學校長は本務の外に園長の兼務が、青年訓練所主事、婦人會、處女會なきに關係せる外、學務委員なきの干渉がましき行爲なきで自分の思ふ存分理想を發揮して本務を遂行する事は、なかく普通人のよくなし得る處でない様である、何故に小學校長は校長として教育の神聖を保持し、どこまでも全責任を負はせ、思ふ存分にとシくやらせないのだらう、近來教育界の行き詰りなきで小學校教育の振興問題なきも議論せられる際にて、自分は

常に小學校長に對し滿腔の同情を表して居るのである。

一方市當局では經費の都合で兼務も已むを得ずこの説をなす處もある様だが、人間の基礎を造る大切な幼児教育を金が無いから已むを得ずして放送する事は甚だ遺憾の次第である、園長の給料がないなら、其を得る方法を講ずれば必ずや適當な途が開かれるに相違ないと思ふ。

最後に一言し度きは、近來幼児教育の必要が漸次認識せらるゝに至り、保姆の採用に關し、人格、學識等に重きを置き、有爲の人物が増加しつつある傾向を見るのは誠に喜ばしき現象である、併しながら主任保姆の園長を援けて責任を果す意氣込みの度合は、甚だ失禮な申し分ではあるが、未だ充分ならざる様な觀なき能はずである、元より其間には保育に充分の理解なき園長の許にあつて、女性の常として已むを得ざる場合の存する事は同情に價する處であるが、理解なき園長をして理解あらしめる様、積極的に導くに於ては必ずや相當の理解の域に達せしむる事は決して至難の事にあらず、要するに從來成績の擧がらざる責任の一部は主任保姆も負はねばならぬ者だと思ふ。(一八、九、二〇)

日本幼稚園協會講演會

一、期日 來る十月二十一日(土)午後一時半より

一、場所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園

(小石川區大塚町卅五、窪町停留場下車)

一、講演及び演題

開會の挨拶

主幹 倉橋惣三氏

性格の病理

東京帝國大學助教授 青木誠四郎氏

皆様御誘ひ合せ、多數御來會の程おまち致して居ります。

九月末日 日本幼稚園協會